

まつば便り 夏号

発行元
社会福祉法人松葉の園
児童養護施設まつば園

～園長挨拶～

気温の変化が著しく、体調管理が難しい春から夏への移行と感じました。そのような中でも、子どもたちは元気に毎日を過ごしております。夏休みには、各ユニットでの外泊行事を予定しており、各ユニットで子どもと職員が計画中です。外泊行事は、ユニットの子どもと職員が全員で外出できる貴重な行事です。子どもたちのみならず、職員も楽しみにしております。楽しい思い出を作ることもちろんですが、安全に気を付けて実施してまいります。

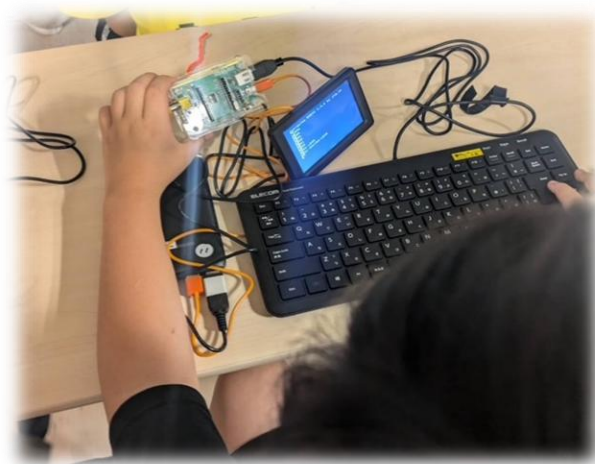
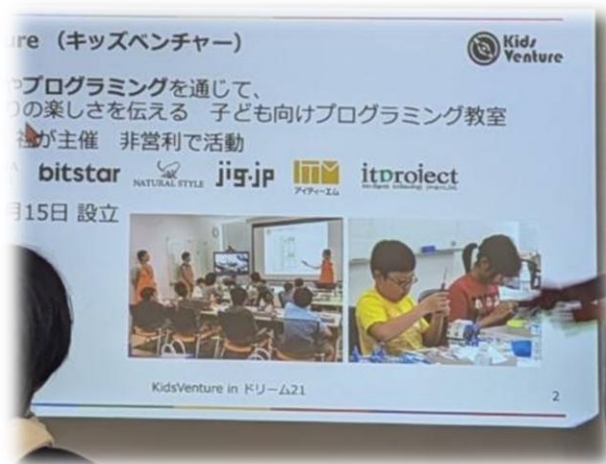
今回の便りでは、令和7年度に入職した職員の紹介をしたいと思います。

また、日々団体、個人の皆様よりご寄付、ご寄贈をいただいております。職員一同感謝しております。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

まつば園 園長 山川庸介

～卒園生によるプログラミング教室～

IT企業に就職した卒園生がスタッフの方々と、子ども達にプログラミング教室を開催してくれました。とても分かりやすく説明をしてくれて、子ども達も楽しみながら取り組みました。



卒園生より

以前に同じユニットで生活していた子ども達が参加してくれてとてもうれしかったです。また、当時の担当職員も参加してくださり、自分の成長を少しでも見てくれて、感じてくれてうれしいです。また、新しい企画を考えて、まつば園でイベントをやらせてもらいたいです。そしてもっと自分が成長していく姿を、園の子どもや職員に見せたいです。

～支援者による演奏会～

企業のサークルで構成する演奏団が、当園に来園して下さり演奏会を開催してくれました。クイズ形式で楽器の説明をしてくれ、また、子ども達が好きなアニメの曲なども演奏してくれました。子どもも職員も聴き入ってしまいました。



小学生 子どもより

楽器の説明で、打楽器、金管楽器、管楽器、弦楽器などの説明をしてくれて、知ることができました。ピアノが打楽器だったとはびっくりしました。演奏ではジブリの曲を演奏と歌を歌ってくれてうれしかったです。最後にみんなで「パプリカ」を歌いながら踊れて楽しかったです。

～来月のイベント～

7月には、手芸の講師を招いて、ワークショップを開催します。子どもたちが自由に、好きなものを作成するというとても貴重な体験になります。とても楽しみです。



令和 7 年度 9 名の新任職員のご紹介

- 1、児童養護施設、まつば園で働くきっかけ
- 2、まつば園で頑張っていきたいこと

保育士 女性

1. 学生時代にまつば園で実習を受け入れていただき、その後アルバイトをする中で、職員の皆様の子どもたちと真摯に関わる姿や、子どもたちを見守る暖かい眼差しや声掛け、職員間で連携し園全体で子どもたちを支援されている姿勢を見ました。そして、自分もまつば園で一職員として子どもたちと深く関わっていきたいと思い、入社を決意いたしました。
2. 先輩職員の皆様のご指導のもと子どもたちと関わる中で日々学び、頼られる職員に成長していきたいです。

保育士 女性

1. きっかけは、私の友人が虐待を受けておりよく相談を受けていました。しかし、相談を聞いてあげるこ
としか出来ずモヤモヤとした気持ちや『何も出来なくて悔しい』という気持ちが私の中にありました。
そこで養護施設を調べて目にしたのがまつば園でした。私は料理や家事が好きで、よくやっていた為『こ
の場所でなら、自分の得意を活かすことが出来るかもしれない！』と思い、この施設に就職を決めまし
た。
2. まつば園では、もちろん料理や家事なども精一杯頑張っていきたいと思っていますが、それよりももっ
と頑張りたいのが子ども達と、全力で楽しく関わることです。子どもそれぞれに合った関わり方で、『ここ
に居ると楽しい』『この人なら安心して話せる』と思ってもらえるよう、頑張っていきたいと思っています。

保育士 女性

- 1,私は小学生の頃から保育士に憧れ、その夢を叶えるために勉学に励んできました。短期大学に進学して
からは、保育の知識だけでなく、施設という環境についても学ぶ機会があり、乳児院での実習も経験しま
した。施設で生活する子どもたちと実際に関わる中で「もっと力になりたい」という気持ちが強くなり、自
分自身も将来は施設で働きたいと強く思うようになりました。特に児童養護施設では、3 歳以上の子ども
たちが生活しており、日々の会話や日常の中での関わりを通して子どもたちの心に寄り添えることに魅力
を感じました。一人ひとりの子どもとしっかり向き合い、その子らしさを大切にしながら援助ができること
にやりがいを感じ、児童養護施設で働きたいという想いがより強くなりました。まつば園に興味を持った
きっかけは、SNS で施設のホームページを見たことです。そこからさらに調べていくうちに、子どもたち
がのびのびと生活している様子や、季節ごとの行事を大切にしているところ、そして職員同士の温かい雰
囲気を知り、とても惹かれました。
- 2,私が保育士を目指しているときから大切にしていることは、「一人ひとりの子どもに寄り添うこと」と
「子どもの発想を活かし、自由に生活できる場を整えること」の 2 つです。これらを常に忘れずに、小さな
ことからでも自分にできることに丁寧に取り組んでいきたいと考えています。また、子どもたちにとって
安心できる環境づくりを大切にしているまつば園で、自分のこれまでの学びや思いを活かして働きたいと
思っています。

保育士 女性

1.大学時代の友人がまつば園で実習させていただいたさいに、楽しかった・すごく良い施設だと報告を受けたのがきっかけです。その後、実際に見学に行って雰囲気と職員の方々が温かく迎え入れてくださったことが嬉しくて、その場でボランティアに加入させていただきました。その後は、トントン拍子でボランティアからアルバイトに変更させていただき、日勤だけでなく夜勤もやってみて自分にはこの勤務形態が合っているなと確信しました。実際にアルバイトをしてみて、いい意味で子どもたちがルールや規則に縛られておらず、いいバランスで自由にのびのびと過ごせていると感じました。また、1日1日の引き継ぎを大事にしているのが伝わってきて、個別担当制を取り入れながらもケアワーカーに限らず、事務・専門職のまつば園職員全員が一人ひとりの子どもを見守っていく方針が素晴らしいなと思い、正社員となった今ではその一員として自分の分園の子どもだけでなく他分園の子どもとの状況も把握していきたいです。

2,子どもだけと関わっているのではなく、学校や病院、児相など多くの社会資源を使用しているため、外部の方々と接することが多くあり、普段分園で見せる自分自身の姿と外部の時に見せる姿のメリハリが出来るように頑張っていきたいです。普段はふざけるという意味ではなく、外部の方の接する場面ではまつば園の顔として、恥ずかしくないように、子どものお手本となれるような話し方や態度を身につけて行けるように日々の生活の中で社会的マナーの知識を蓄えていきたいです。

保育士 男性

1 児童養護施設は保育園や幼稚園と違い1人の子どもに長い期間関わることができる。ゆっくり時間をかけて信頼関係を築きながら子どもたちと関わることの出来る児童養護施設に魅力を感じたから。その中でもまつば園は食育を大切にしている。いつもいる職員が日頃の料理を作ることで調理中に会話が生まれたり、調理をする職員によって味が変わったりなど、食事を通してより家庭的な支援を行えると思ったから。

2 まつば園では自分の長所だけではなく短所も活かせるように頑張っていきたい。実際に私は勉強が苦手な子どもから英語を教えてと言われた際に教えるということが出来ず、一緒に勉強をするということになった。職員として教えるべきだと思ったが、子どもはこれからも一緒に勉強して欲しいと言ってくれて短所も活かせることが仕事だと実感した。自分の特性を活かし子どもたちと関わっていきたい。

児童指導員 男性

1.以前から児童養護施設とはどのような場所で、いかにして社会的養護の立場にある児童たちに対して支援を行っているか気になっていました。児童の生活環境の中に入り暮らしの面から児童を支え、社会への自立に向けた支援を児童と向き合いながら並走して行いたいと感じたことが児童養護施設で働くきっかけになりました。

まつば園が通っていた大学の実習先の中の一つであり知人、先生から児童養護施設であるならまつば園が都内では歴史があり良いと勧められ私自身もまつば園の理念に惹かれたことがまつば園で働くきっかけになりました。

2.児童が安心して暮らしていけるような関係作りと生活環境の整備を頑張っていきたいです。

保育士 女性

1. 保育士養成校で虐待を受けている子どもについて学び、それ以降ずっと頭に、「児童養護施設」という文字が残っていましたが、様々な場所に実習に行かせていただく中で自分の無力さを痛感し、資格取得後には一般企業に就職致しました。

一般企業で働く中で、ある 1 件の虐待についての記事に出会い、自分自身と向き合う時間が増えていき、「虐待や育児放棄を受けて傷ついてきた子達が多い分、子ども達 1 人 1 人にたくさんの愛を注ぎたい。子ども達の何か力になりたい」という思いが強くなりました。

その後縁あってまつば園と出会い、まつば園の全調理することで家庭的養育や食育を実現するところや、職員同士の温かい空気感、チーム支援や、お子様一人一人を全職員が大切に思い、行動に移すところに魅力を感じ、まつば園に就職させていただきました。

面接の際には緊張していましたが、橋本理事長先生や山川園長先生、主任さん方の、職員のことをも包み込んでくださるような温かさに触れ、まつば園で働きたい！という思いがより一層強くなりました。

2. 子ども達 1 人 1 人としっかりと向き合い、子ども達の自立について一緒に考え、悩める職員になりたいと思います。職員としても一人間としても、お子様達と共に成長出来る人間になれるよう頑張りたいと考えています。

治療指導員 女性

1. 見学に伺った際、職員の皆さんがとても明るく挨拶をしてくださり、施設全体に温かく穏やかな雰囲気が流れているのを感じました。その姿を見て、「こんな環境で働いてみたい」と自然と思えたことが、まつば園で働こうと決めた大きなきっかけです。子どもたちのために真摯に向き合っている職員の方々の姿勢にも感銘を受け、自分もその一員として関わっていきたいと思いました。

2. 子どもたち一人ひとりの気持ちに丁寧に寄り添いながら、その子らしく安心して生活を送ることができるよう、日々の関わりを大切にしてサポートしていきたいと考えています。また、子どもたちを支えていくためには、職員同士の連携や情報共有も欠かせないと感じているので、日々のコミュニケーションを大切にしながら、チームの一員として協力し合い、よりよい支援ができるよう努力していきたいです。

児童指導員 女性

1、理由として面接を受ける前に 1 日だけ体験実習をさせて頂いたときの雰囲気と対応がよかったこと、面接中の職員の優しい空気感が自分に似合っていると思ったからです。

また、児童養護施設で働く前の印象として、とにかく忙しい、仕事内容が大変そうで自分が着いていけるかどうか、子どもたちと関係を築いていけるのかがすごく不安な気持ちでたくさんだったのですが、“ゆっくりでいいからね”と体験実習中に職員さんに言われたときにちゃんと自分のことを考えてくれていることを実感したこと、不安なことや疑問に思ったこともすぐに質問出来るような環境があったことなどまつば園で働いている自分自身を想像することが出来たのがきっかけです。

2、働き始めてからまだ 2 ヶ月しか経っておらず、子どもとの関わり方についても不安でいっぱいなことだらけですが、まずは子どもたちとたくさん関わっていくことと仕事内容にきちんと着いていくこと、分からないことや不安なことはすぐに聞くことなどまずは基本的な部分はもちろん、自分自身も大事にしつつ、1 日 1 日を精一杯頑張りたいと思います。

●話題の「古古古米」とは？

そもそも古米というのは、新米ではないお米を指します。新米は収穫された翌年の10月31日までのものと決まっています、翌日11月1日には古米に変わるのです。

	収穫年
新米	2024年
古米	2023年
古古米	2022年
古古古米	2021年
古古古古米	2020年

古米と呼べるのも1年のみで、この表にもあるように1年経つごとに「古」の文字が増えていきます。

●お米に消費期限はないのか？

お米のパッケージには、「精米年月日」または「精米年月旬」(上旬・中旬・下旬など)は記載されていますが、消費期限や賞味期限は記載がないですよ。これには理由があり、お米は野菜や果物と同じく「生鮮食品」として扱われているためなのです。

●古古古米の味や食感は？

古古米や古古古米を食べた方によると、同じように炊いても新米よりかたく炊きあがることが多いという意見が多く見られます。やはり新米と比べるとどうしても味が落ちていたり、多少においが気になったりすることもあるようです。

●米を備蓄する理由

そもそも備蓄米というのは災害や天候不良などでお米が凶作になるなど、予期せぬ事態が発生した際の供給不足に対応するために、政府が一定量を保管しているお米のことです。およそ100万トン程度を目安に保管されています。これは、10年に1度の不作にも耐えられるほどの量ともいわれているんです。災害時などはもちろん、米の価格を安定させたり、安全な食生活を確保したりする目的で管理されています。

今回の米不足で、農家の皆様の頑張りや、日本の食を守ってくれていることをより知ることができました。当園では54名の子ども達が生活しています。米の消費量は多いですので、今後も米一粒の大切さを子どもと共有していきたいと思えます。

～令和7年度 辞令交付式～



今年度も素晴らしい意志を持った職員が入職してくれました。新入職員を代表して、当事業所より、保育士の女性が素晴らしい決意表明をしてくれました。

当法人、そして当事業所は、子ども達の幸せのため、職員の幸せのために、より良い職場環境をつくりま
す。関係機関の皆様、地域の皆様、当園の更なる発展にご協力いただければと思います。

お問合せ先
社会福祉法人松葉の園
児童養護施設まつば園
電話 03-3962-6869



HP



Instagram